

地デジの準備は済んでいますか？

—アナログ終了まで、あと8ヶ月 地デジ化すすんでいますか？—
電波を有効に活用するため、テレビの地上アナログ放送は、来年7月24日正午に全ての放送が終了し、地上デジタル放送に完全に移行します。アナログからデジタルへ、スムーズな移行ができるように、早めに準備をお願いします。

地デジを見るためには？

アンテナ受信の場合

①アナログテレビを地上デジタル対応テレビに買い換える

②アナログテレビのまま、地上デジタルチューナーや地上デジタルチューナー内蔵の録画機器を買い足す

のどちらかが必要になります。

また、地上デジタル放送は、UHFの電波を使って放送されているので、一戸建て住宅で地上デジタル放送を受信するためには、UHFアンテナの設置が必要です。マンションなどの集合住宅では、共同アンテナの改修が必要な場合があります。

ケーブル受信の場合

ケーブルテレビを利用する場合は、個別アンテナの設置や、共同アンテナの改修は必要ありません。また、デジアナ変換によりアナログテレビのままでも、地上デジタル放送をご視聴いただけます。詳しくは、ケーブルテレビ事業者へお問い合わせください。



地デジ詐欺にご注意ください！
総務省や放送局の担当者語り、地デジの工事や受信機の設置などの費用を騙し取る詐欺が発生しています。こちらから依頼をしていない工事などに、絶対に料金を払わないよう注意しましょう。不審な点があれば、すぐに最寄りの警察署や、消費生活センターなどに連絡してください。

でんねいげ! デジサポへ
地デジに関するご相談は、いつでもお気軽に「デジサポ鳥取」までお電話ください。

受信相談専用電話 0857-33-4800
平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00

みんなで広げよう 蛍光管リサイクルの環



集めた蛍光管、どのように処理しているの？

資源を有効に利用するために、北九州にある専門の処理工場でリサイクルしています。

日本で初めて、再生原料を使用した蛍光管として生まれ変わっています。

工場では蛍光管を構成するガラス・蛍光体・金属類・水銀など、可能な限り元の原材料に再資源化しています。

再資源化されたガラス・蛍光体の一部は再び蛍光管として使用され、平成14年からリサイクル原料を使用した蛍光管として製造・販売されています。

伯耆町 平成21年度の蛍光管処理実績



- みなさまのご家庭から平成21年度に回収・リサイクルした蛍光管の量は1,580kgでした。
- また、このリサイクルによって低減できた二酸化炭素の量は約201kgで、杉の木が1年間に吸収する二酸化炭素の量に換算すると約15本分に相当いたします。
- このように使用済みとなった蛍光管は割らずに集めれば、資源として有効に活用できるとともに、低炭素社会の構築(地球温暖化の防止)にも貢献します。

年末年始の可燃ごみの収集

エリア	年末最終収集日	年始収集開始日
溝口、谷川、宮原	12月27日(月)	1月3日(月)
貴住、長山、妙見寺、金屋谷、アイノピア、大江、上野、大平原、岩立、大内、末鎌、遊久の郷、いすずコテージ、大山の森、榎水高原、藍野、小林、ペンション、大山ヒルズ		
二部全区、古市、父原、宇代、中祖、荘	12月28日(火)	1月4日(火)
白水、根雨原、大原、大倉、大坂、栃原、大瀧、籠原、富江、ふるさと村、福永、添谷、小野、小町、立岩、上細見、木戸口		
林ヶ原、吉定、岸本、伯耆ニュータウン、駅前、押口、吉長、遠藤、遠藤団地、リバータウン	12月29日(水)	1月5日(水)
大寺、こしきヶ丘団地、殿河内、みどり団地、大殿スカイタウン、田園町、坂長、岩屋谷		
清山、清山団地、口別所、久古、番原、真野、大原、丸山、半川、須村、福原、サン団地		

※その他の不燃ごみ、古紙などの収集日は、平成22年度ごみ収集カレンダー(エリア別)をご覧ください。

【問い合わせ先】地域整備課 環境整備室 ☎68-5539

【問い合わせ先】総務省 鳥取県テレビ受信者支援センター(デジサポ鳥取)

